

開催予告

第33回 ATS シンポジウム開催について 安全で効率の良い運航と航空管制

ATS 委員会

毎年恒例の ATS シンポジウムが10月29日（土）に開催されます。

1977年3月にスペイン領カナリア諸島テネリフェ島のロス・ロデオス空港の滑走路上で、2機の Boeing747型機同士が衝突し、乗客乗員合わせて583人が犠牲となった死者数史上最悪の航空事故が発生しました。

この事故は管制用語に原因があったことから、その年の12月から操縦士協会と航空管制協会のメンバーが集い、管制用語の研究が始まりました。この Meeting が R/T Meeting であり、以来34年11カ月の間、毎月第2土曜日に JAPA 会議室で開催されております。

現在は管制用語の研究の他、日常運航における航空管制の諸問題を議論し、日本の管制のあるべき姿、管制方式基準の改正提案等を検討しております。そして ATS シンポジウムはその活動の発表機会であり、毎年日本全国から100名を超えるパイロット・管制官が集います。今年も大変興味深いテーマが盛り沢山予定されていますので、皆様奮ってのご参加をお待ちしております。

◇日 時：平成23年10月29日（土）10：00～17：00

◇場 所：全日空講堂 東京国際空港第一旅客ターミナルビル1F（北側）

◇基調講演：「これからの航空管制（仮題）」

国土交通省航空局交通管制部管制課

課長 鈴木 正則氏

◇解 説：「管制方式基準改正について」

国土交通省東京航空局管制課

調査官 渡邊 智史氏

「関東空域二次再編について」

国土交通省航空局交通管制部管制課空域調整整備室

調査官 呷野 一理氏

◇研究発表：「出発機への地上走行指示について」

「STAR に関する問題点について」

主 催：社団法人 日本航空機操縦士協会・財団法人 航空交通管制協会

後 援：国土交通省航空局

※ 参加希望の方は、当日会場受付にお越し下さい。

会場案内図

●会場 全日本空輸(株) 講堂
羽田空港第1ターミナル1階（北側）

